

「生きる」

エピソード

9月のはじめ、校庭のベンチに腰をおろしたタダシとミナヨは、まだ進路を決めることができないでいます。

タダシ：「この前の模試どうだった？」

ミナヨ：「まあまあかなあ。」

ふたりともこの前の模試の成績が気になるようです。

そこへクラスメートの明夫が通りかかりました。

明夫も進路をはっきりとは決めていませんが、けっこうのんびりしているようです。高校には行きたいと思っているようですが、勉強よりもアルバイトに力をいれるつもりでいます。

明 夫：「おい、二人とも元気ないじゃないか。」

タダシ：「そろそろ、進路を決めないとダメだろ。はやく決めろって、毎日親がうるさいんだよ。お前のところは何も言わないのか。」

言わしとけばいいんだよ、と明夫は思います。しっかり勉強して大学をでたところで、朝早くから疲れた顔で家を出て行く父親をみていると、とてもおもしろそうには思えません。

それに比べると、近くのスーパーでアルバイトしている先輩のマサルは、朝もゆっくりだし、毎日が楽しそうにみえます。

ある日、明夫はスーツ姿のマサルに会いました。

明 夫：「今日はお休みですか」

マサル：「ちょっとね。」

と答えただけで、そのまま行ってしまいました。店の人の話では、新しい就職先を探しているらしいとのこと。

店の人：「子どもができたらしいよ。」

あいつももうすぐパパだから、
いろいろ考えないといけないんだろう。」

放課後、ベンチにすわっているタダシとミナヨの前を明夫が通りかかります。今日は明夫もちょっと考えこんでいるようです。

タダシ・ミナヨ：「明夫、元気ないじゃないか。」

明 夫：「いや、べつに…。」





明夫のひとりごと…

●マサルさんは何で
アルバイトをやめるんだろう。
あんなに楽しそうにしていたのに。
親になるからって別に
やめなくていいと思うんだけど。
やっぱり、がんばって勉強して、
いい学校へ行って、ちゃんと
就職しないといけないのかなあ。



グループワーク

1 グループに分かれて話しあってみましょう。

- ① マサルの行動をどう思いましたか？
- ② 親となるために必要なことは何だと思いますか？

2 結婚することや子どもを持つことを含めて、自分自身の生き方、社会とのつながりを考え、人生設計をたててみましょう。（次のワークシートに書きこんでみましょう）